

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ふるーの森		
○保護者評価実施期間	2024年11月11日		~ 2024年12月9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31人	(回答者数) 28人
○従業者評価実施期間	2024年 11月 11日		~ 2024年12月9日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 7人
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・一人一人の特性に合わせながら、将来を見据え自立に向けたプログラムを取り入れている。(生活スキルの向上等)	・支援計画の見直しの時期や、必要に応じて都度アセスメントを取り、お子さんに合わせたツールを使って支援をしている。	・お子さんの発達に合わせたアセスメントの充実を図って行く。
2	・お子さんに寄り添いながら、一人一人の個性、特性を理解したうえでの支援に努めている。	・職員全員、チームでアプローチすることを心がけている。その為、情報の共有や意見交換する機会を毎日作っている。	・他職種で連携しながらプログラムを充実させていく。 ・職員同士の情報共有を強化していく。
3	・お子さんが自主的に行動できるようにわかりやすい環境作りを心がけている。 ・安全で安心して過ごせる環境をつくれるよう日々努めている。	・今何をしたら良いか、次何をするのか等、わかりやすいように視覚支援をしながら、環境を整えている。 ・お子さんに合わせて室内のレイアウトを変更している。	・気が付いたことは、職員同士で意見を出し合い、改善した方が良いことは速やかに改善していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者様と会う機会が少ないため、コミュニケーションを取れる時間が限られている。(年2回の面談、送り迎え時)	・面談以外にもいつでもご連絡下さいと伝えてはいるが、相談しにくいところもあるのか、ご希望される方が少ない。	・保護者様が話しやすいようアプリなどを活用して日頃から情報発信をしてコミュニケーションを図っていく。
2	・学校通所日は、事業所で過ごす時間に制限があり、体を動かしたりする機会がなかなか持てない。	・長期休暇時や予め早い登所時の時などは、コミュニティ会館の利用や公園に行くなどの活動は取り入れている。	・長期休暇時の取り組みは継続し、日常の中でも、室内空間やテラスなどを活用しながら体を動かすプログラムを計画していく。
3			